

第3回ワークショップ結果概要

草花折立下区域

日 時：平成30年11月4日（日） 14時～16時

会 場：折立会館

参加者：24人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見(参考) 各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - (1) この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - (2) それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性(素案)」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認いただいたところ、サービスの目的、導入を検討したい交通サービスについてそれぞれ修正意見をいただいた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有したが、時間の都合上からワークショップ時間内に全体まとめをすることが出来なかったため、後日、とりまとめ結果をワークショップ参加者全員に郵送した（当日欠席者を含む）。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】
草花団地（急坂下 改め）にも配慮して、
鉄道駅や病院への足を確保する

【いただいたご意見】

- ・「草花団地にも配慮して」は必須ではなく、配慮の結果当地区の公共交通整備が遅れないようにして欲しい
- ・買物目的も考慮して欲しい

②主な利用者の想定

【素案】
・免許返納後の高齢の方
・自分で車を運転できない方など

【いただいたご意見】

- ・特にありませんでした

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	
1) 定期路線運行型交通の導入	・決まった路線と決まったダイヤで、車両を運行する。	1)-1 従来の「 <u>るのバス</u> 」を走らせる。 1)-2 <u>小型の車両を走らせる</u> 。(草花団地までも通すため)
2) <u>タクシー代の補助</u>	・タクシー代を補助する。	
3) <u>ドア to ドアの交通</u>	・自宅の近くから目的地まで行けるように、車両を運行する。	3)-1 <u>タクシーの相乗り</u> (目的地が同じ人で同乗) 3)-2 <u>自家用車の相乗り</u> (目的地が同じ人で同乗)
4) <u>路線バスの利便性向上</u>	・今ある路線バスを、使いやすくする。	①西東京バス福 23 系統を草花区域に迂回させる。 ②永田橋付近の <u>バス停を移動させる</u> 。
5) 住民主体の交通手段	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・決まった路線と決まったダイヤで運行。
6) 自転車の共同利用	・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。	①最寄りのバス停までの移動に利用 ②駅や病院等への移動にも利用

【いただいたご意見】

- ・「7)企業等との連携」を追加して欲しい

※その他サービス内容に関する具体的なご意見をいくつかいただきましたが、それらについてはメリット・デメリットの比較表に入れさせていただきました。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①交通サービス(候補)のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1)定期路線運行型交通の導入	1)-1 従来の「るのバス」を走らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在運行しているから実現しやすいのではないかな。 ・ 公共施設や病院を経由している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のるのバスは利用者が少なく誰も乗っていない。非効率。 ・ 新規の取組なので経費がかかる。 ・ 台数が少ない(1台しかない) ・ 導入までに時間がかかりそうだ。 ・ 道路整備から必要なので現実的ではない。 ・ 「検討に時間がかかる」「導入の費用がかかる」と言うが、交通は住民にとって早急に解決してほしい問題である。
	1)-2 小型の車両を走らせる。(草花団地までも通すため)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型のバスの購入費用がかかる。 ・ 新規の取組なので経費がかかる。 ・ 草花団地の道は、普通車同士のすれ違いも難しいため、軽自動車でないといけないのではないかな。
2)タクシー代の補助	・ タクシー代を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算が確保できればすぐに実行できる。 ・ るのバスより現実的(だと思う)。 ・ 当面進めやすそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規の取組なので経費がかかる。 ・ 制度の確立が必要(受益者負担は当然だと考える) ・ るのバスを増便できないのに、市の予算でタクシー代の補助ができるのか？ ・ どんな利用目的(例:知人の家に遊びに行く)でもタクシー代を補助してくれるのか？
3)ドア to ドアの交通	3)-1 タクシーの相乗り(目的地が同じ人で同乗)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 現実的に無理。タクシー代の補助の方が現実的 ・ 考え方は理解できるが、相乗りをする具体的な方法など実現性に疑問を持っている。 ・ 同じ目的地の人を確認するのが難しい。
	3)-2 自家用車の相乗り(目的地が同じ人で同乗)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度として確立できれば、好ましい方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故が発生した時の処理や補償問題をどう解決するか。 ・ ドライバーに負担がかかる。 ・ 相乗りする人を見つけるのが大変 ・ たとえ運転のプロでも、心疾患や脳疾患などで運転中に倒れる可能性がある。

分類	サービス内容	メリット	デメリット
4)路線バスの利便性向上	①西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる	・ 今のバスと違い、買物や通院目的で他の自治体へも乗り入れることができる。	・ 路線バスの経路変更は道路の問題もあり、非現実的 ・ 道幅の問題があり、大型車が進入できない。 ・ 路線バスは現在でも減便されており、とても現実的とは思えない。
	②永田橋付近のバス停を移動させる	・ 現段階では、永田橋付近のバス停の移動にはメリットがある。 ・ 福生方向の花之岡バス停を橋の近くに移動する。	・ バス停を移動すると遠くなってしまいう人もいる。
5)住民主体の交通手段		・ ドライバーの不足については上河原地区などとも連携すれば補えるのではないかな。	・ 盆堀方式は盆堀地区だからできること、折立は住民がまともまれるか？地区の事情からみて導入は難しい。 ・ 事故があった場合など、最終的に誰が責任を取るのか。 ・ 運転手ボランティア（特に若い人は日中、働きに出ているため）がいない。
6)自転車の共同利用			・ 考え方は良いが、実現するにはいろいろな課題の解決が必要 ・ 自転車の共同利用は都会では普及しているが、あきる野市で普及するとは思わない。 ・ (高齢者にとって)電動自転車は(重いため)怖くて乗れない。 ・ 通院等で利用した場合、長時間かかることも考えられるため、多くの人利用するとなると、かなりの台数が必要になってしまうのではないかな。 ・ 今後、高齢化が進むと、自転車に乗れなくなる人も多くなるのではないかな。
7)企業等との連携		・ 費用がかからない。	・ すぐに変更、中止される可能性がある。

②サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容	サービス内容の提案等
1)定期路線運行型交通の導入	1)-1 従来の「るのバス」を走らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望をくみ取り、従来のるのバスの時間帯・便数・ルートを見直し ・公共施設などの拠点で乗り継ぎができれば市内各地へ行ける ・市内を網の目のように運行して欲しい ・草花の小林クリニックさんは独自のサービスとしてバスを運行しています。これを参考に！ ・当初の計画どおりに、るのバスを市内3台体制にして運行する ・3台体制が難しい場合は、ルート毎に日を決めて運行する ・るのバスを土日も走らせる ・るのバスを上河原地区にも走らせる ・るのバスを急坂の上、ゆる坂の上まで通して欲しい ・るのバスは他の自治体に乗り入れることはできるのか？ ・市全体での調整は市の姿勢の問題であり、デメリットではない
	1)-2 小型の車両を走らせる。(草花団地まで通すため)	<ul style="list-style-type: none"> ・草花団地経由は無理でも折立地区を走らせる ・小型のるのバスを走らせる。現行の草花コースを3分割して、それぞれ週1~2回。時間がかかっても良い。 ・デイサービスの車は、急坂下まで来るのに、なぜ「るのバス」は入れないのか？
2)タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・できるところから同時進行で進めて欲しい ・金額に配慮する
3)ドア to ドアの交通	3)-1 タクシーの相乗り(目的地が同じ人で同乗)	
	3)-2 自家用車の相乗り(目的地が同じ人で同乗)	
4)路線バスの利便性向上	①西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる	<ul style="list-style-type: none"> ・「西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる」は、「折立区域に迂回させる」と限定した表現の方が良い ・西東京バスを永田橋から都道29号へ通し、いなげや前、阿伎留医療センター、イオンまで通す。 ・一部を都道29号経路に変更(午前・午後2本程度)する ・永田橋には沢山の路線バスが通っているの、少しぐらいは迂回させられるのではないか。 ・西東京バスの他にもう1社、競合手を参入させ、運行を活発にする。 ・急行バスと緩行バスの併用した運行
	②永田橋付近のバス停を移動させる。	
5)住民主体の交通手段		<ul style="list-style-type: none"> ・盆堀地区の交通事業を参考にする ・運転ボランティアによるサービス提供
6)自転車の共同利用		<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪中の鍵の管理はどのようにするのか
7)企業等との連携		

■ 第3回ワークショップの様子

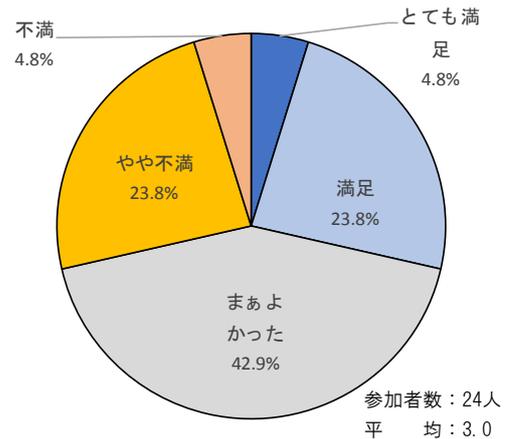


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・各自いろいろな意見があるなあ！
- ・まとめた目的等について前段で検討したが、具体的な話になって無駄？メリット・デメリットの方へ入り込んだ？
- ・論点がはっきりしなかったのでは？まとめ方が多少一方的なことが気になります
- ・本当に実現を目指しているか疑問
- ・分類について話の内容から公共交通という大きなテーマからもう少し分類を細分化した方がよいのではないか
- ・今すぐ実現できること、しやすいことから進めていくのは良いのでは。住民の意見を出すことによって市が動いてくれるのではないかと
- ・相乗りの相手を見つけるのはどうするのか、むずかしいのではないかと

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・進行に不手際あり、余計な時間がかかり、ワーク討議が良くできなかった
- ・司会者は説明しているのにほかの参加者の理解不足かな？
- ・短時間によくやっている

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・1、2回のワークショップのまとめは良く出来ていたと思う
- ・メリット、デメリットのまとめ方が多少一方的に偏っているのでは
- ・年よりは耳が悪く声も小さいので、お互いの意見が聞こえず発言がから回っている
- ・分類が大まかすぎるので意見を集約することがむずかしい
- ・今日のワークショップ、1と2を一緒にした方がよかった
- ・出た結論に対する市の積極的対応、取組みが課題
- ・細かく整理して行うのは、結果的には何が一番大切なのかということに行きつくので良いと思った。時間がかかるけど。